安全第一

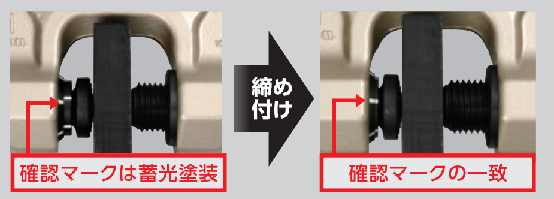
スーパークランプ 安全作業マニュアル

1 スクリューカム類

NETIS 国土交通省　新技術情報提供システム 登録商品

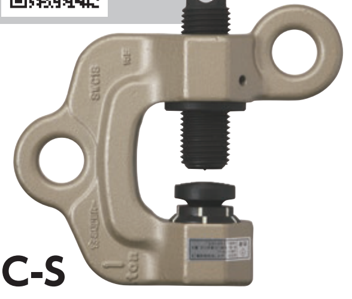
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM

締め付け確認が出来る安心・安全構造「ツイストカム方式」

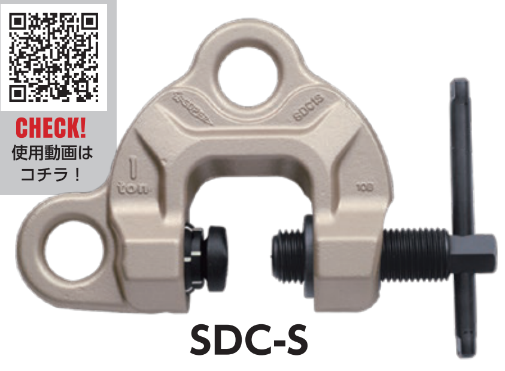


⚠ マークが一致していることを確認し、25N·m（約250kgf·cm）以上で締付けを行って下さい。

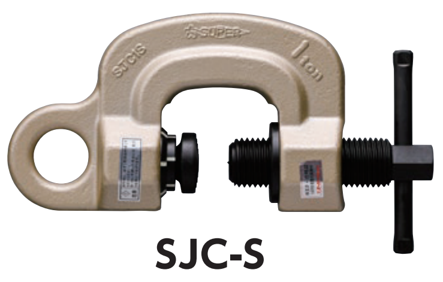
CHECK! 使用動画はコチラ！



SWC-S



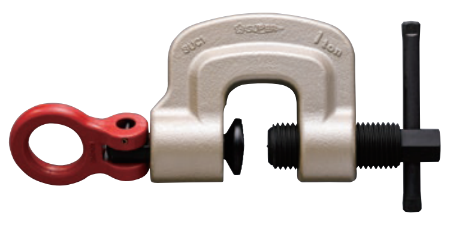
SDC-S



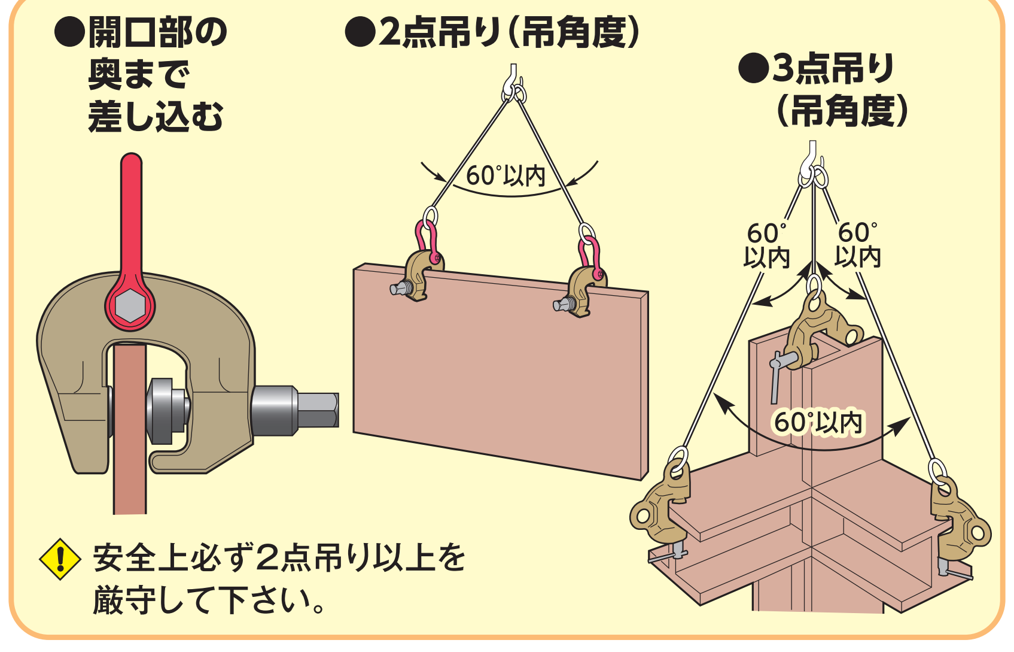
SJC-S

SCC（万能型）

※吊り下げ不可



SUC（スイベルタイプ）

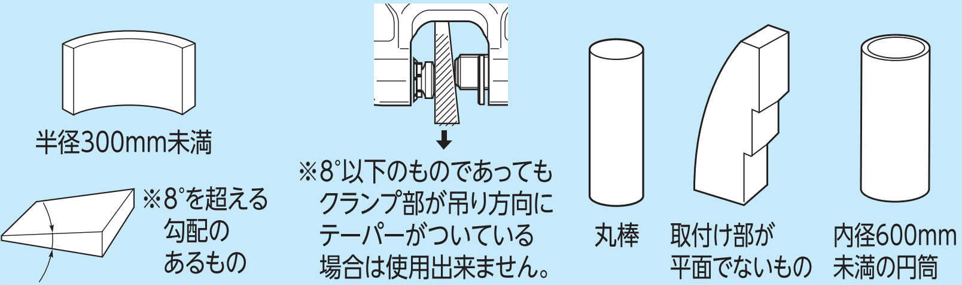


- ●開口部の奥まで差し込む
- ●2点吊り（吊角度）
- ●3点吊り（吊角度）

⚠ 安全上必ず2点吊り以上を厳守して下さい。

⚠ 使用禁止

下記のような形状のものをクランプすることは出来ませんので、使用しないで下さい。

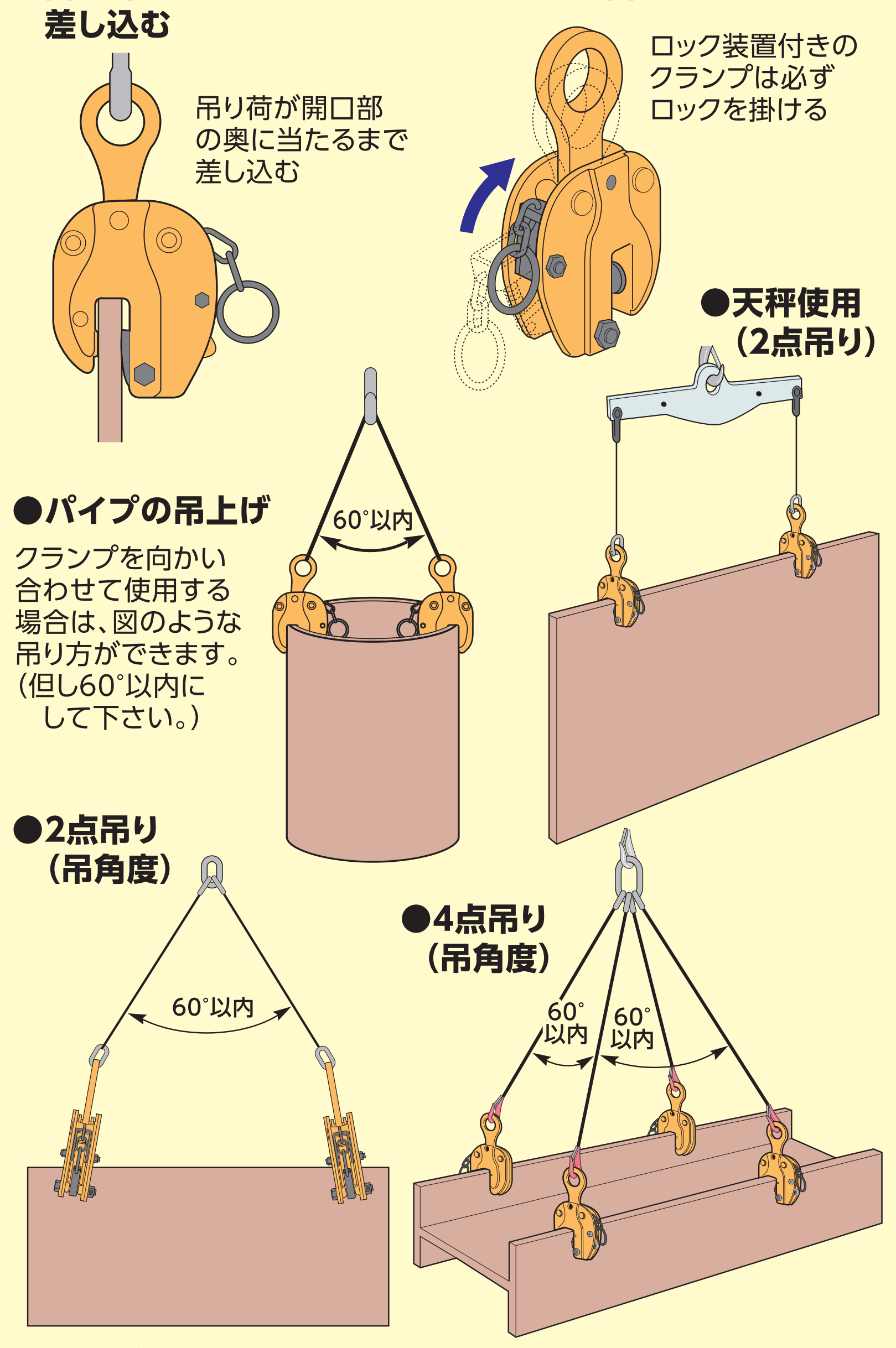


- 半径300mm未満
- ※8°を超える勾配のあるもの
- ※8°以下のものであってもクランプ部が吊り方向にテーパーがついている場合は使用出来ません。
- 丸棒
- 取付け部が平面でないもの
- 内径600mm未満の円筒

2 立吊専用

CHECK! 立吊クランプ引っ張り試験動画

- **SVC-E**（ロックハンドル式・自在シャックルタイプ）
- **SVC-H**（ロックハンドル式）
- **SVC**（開放ストッパー式）
- **SVC-L**（ロックレバー式）



●開口部の奥まで差し込む

吊り荷が開口部の奥に当たるまで差し込む

●ロックを掛ける

ロック装置付きのクランプは必ずロックを掛ける

●天秤使用（2点吊り）

●パイプの吊上げ

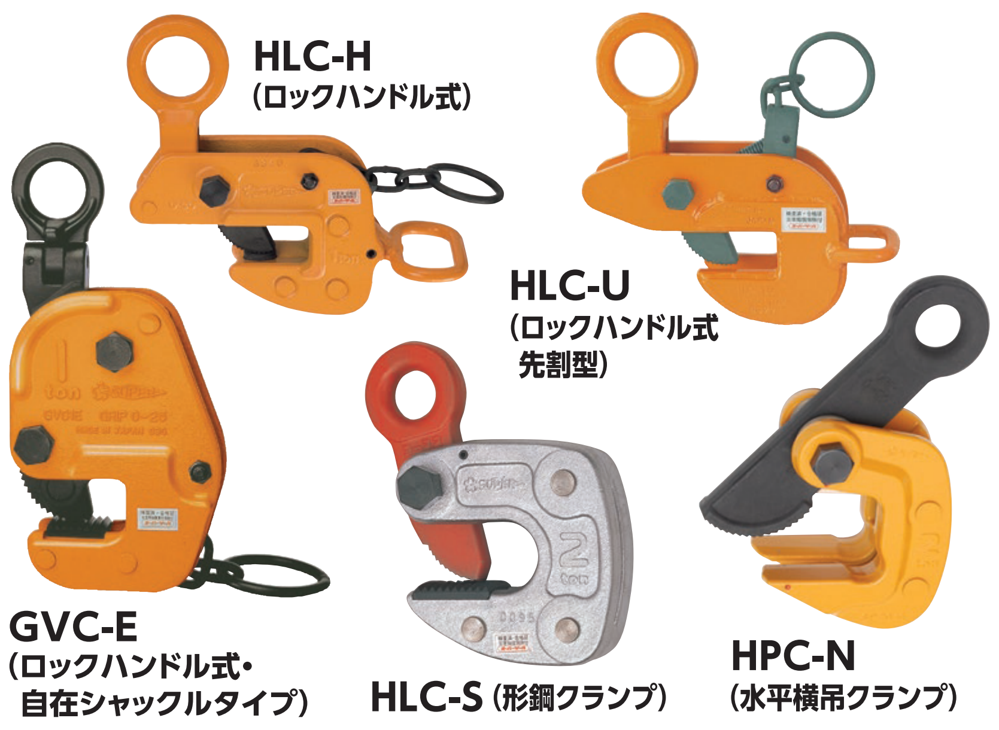
クランプを向かい合わせて使用する場合は、図のような吊り方ができます。（但し60°以内にして下さい。）

●2点吊り（吊角度）

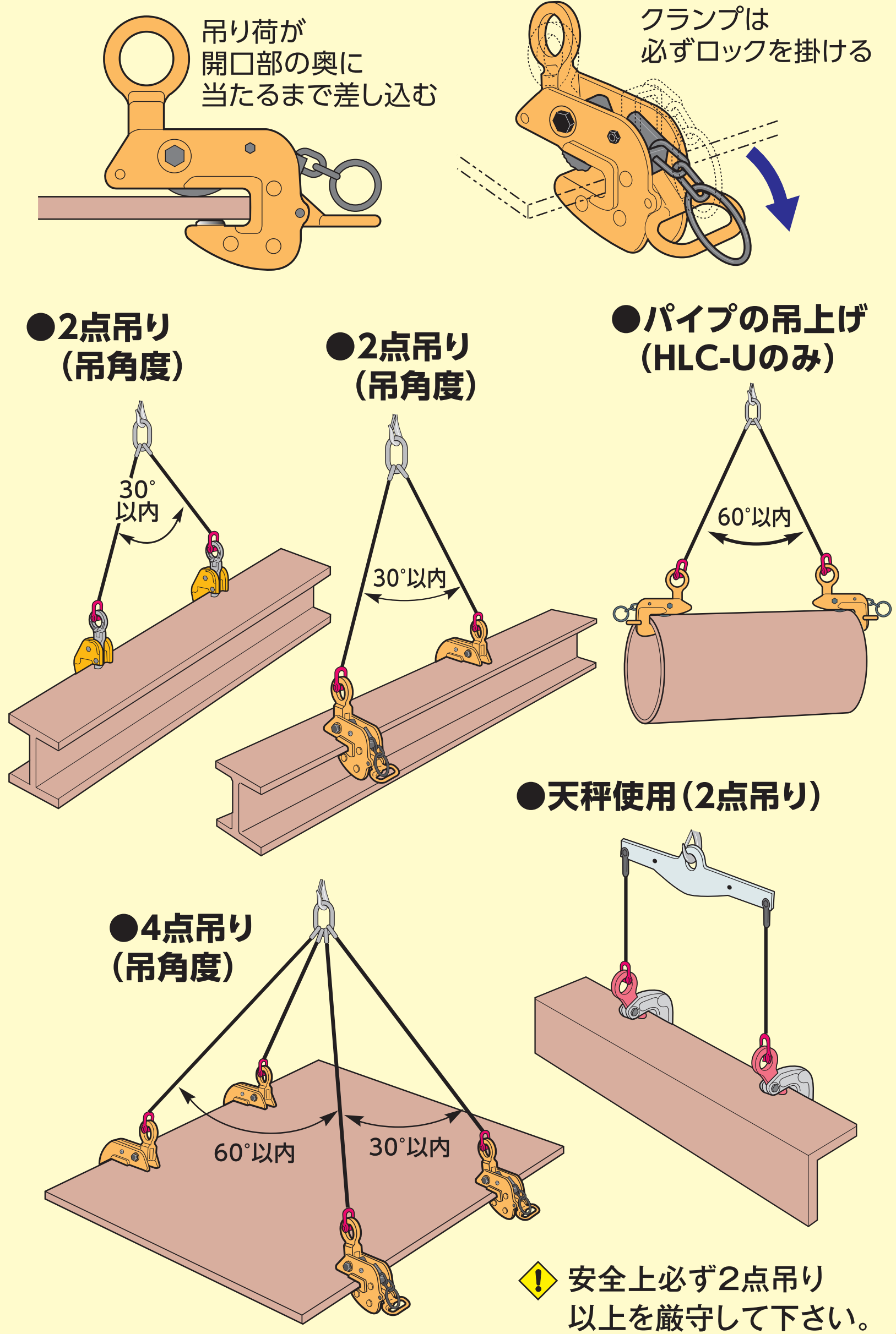
●4点吊り（吊角度）

⚠ 安全上必ず2点吊り以上を厳守して下さい。

3 横吊専用



- **HLC-H**（ロックハンドル式）
- **HLC-U**（ロックハンドル式 先割型）
- **GVC-E**（ロックハンドル式・自在シャックルタイプ）
- **HLC-S**（形鋼クランプ）
- **HPC-N**（水平横吊クランプ）



●開口部の奥まで差し込む

吊り荷が開口部の奥に当たるまで差し込む

●ロックを掛ける

ロック装置付きのクランプは必ずロックを掛ける

●2点吊り（吊角度）

●2点吊り（吊角度）

●パイプの吊上げ（HLC-Uのみ）

●天秤使用（2点吊り）

●4点吊り（吊角度）

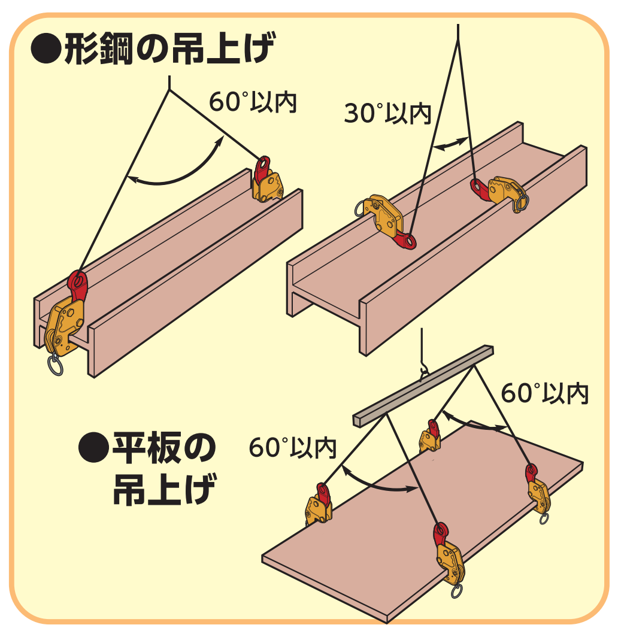
⚠ 安全上必ず2点吊り以上を厳守して下さい。

4 立横兼用

CHECK! 使用動画はコチラ！

NEW

GVC-R（ロックハンドル式）



●形鋼の吊上げ

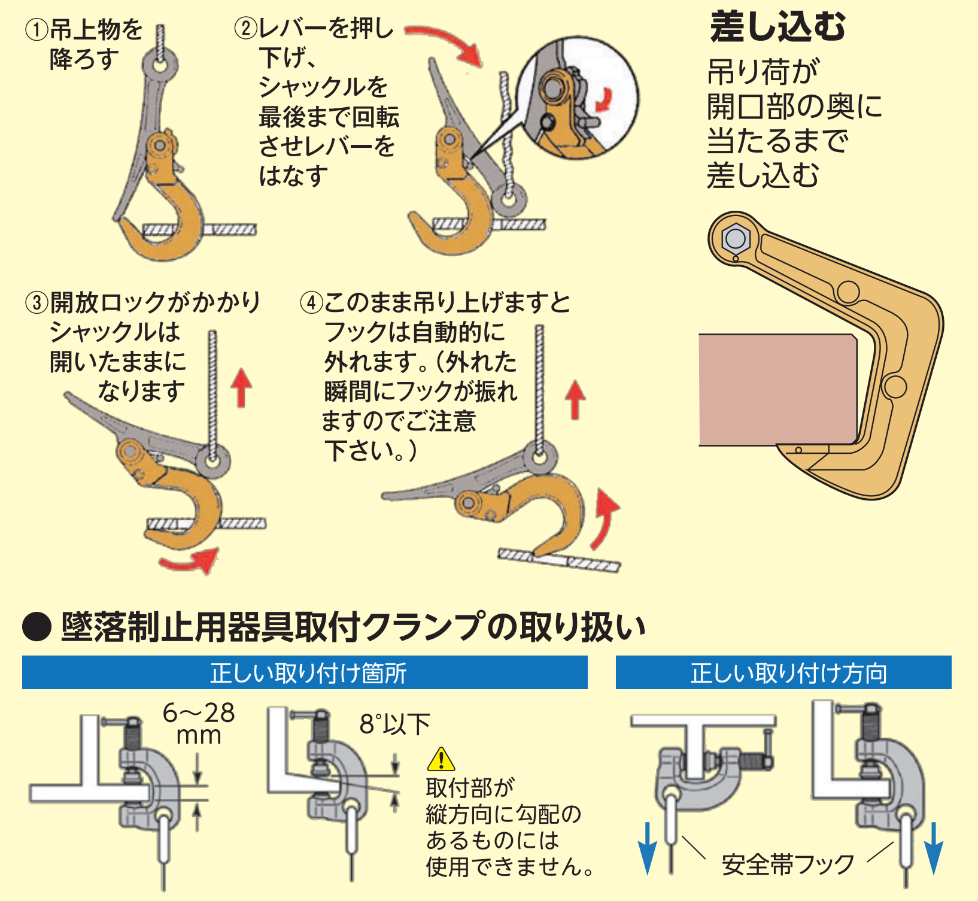
●平板の吊上げ

5 その他

NETIS NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM 国土交通省 新技術情報提供システム 登録商品

NEW

- **SLH3A**
- **SLH-S**
- **HHC**
- **SSCC130**



●開放ロック機構（SLH3Aのみ）

①吊上物を降ろす

②レバーを押し下げ、シャックルを最後まで回転させレバーをはなす

③開放ロックがかかりシャックルは開いたままになります

④このまま吊り上げますとフックは自動的に外れます。（外れた瞬間にフックが振れますのでご注意下さい。）

●開口部の奥まで差し込む

吊り荷が開口部の奥に当たるまで差し込む

●墜落制止用器具取付クランプの取り扱い

正しい取り付け箇所

正しい取り付け方向

⚠ 取付部が縦方向に勾配のあるものには使用できません。

▶ 作業前の点検・確認

- ●吊り作業に適合した機種を選んでください。
- ●日常点検や定期点検が、実施されているか確認してください。
- ●クランプの最大容量及びクランプ範囲を確認してください。
- ●吊り荷の重量が最大容量の範囲内であるか、確認してください。
- ●吊り荷の板厚がクランプ範囲内であるか確認してください。
- ●カム、パッド、締付ねじ等の目づまり、摩耗、損傷、脱落がないか再点検してください。
- ●変形、亀裂、摩耗、作動不良等異常のある物の使用禁止。

⚠ その他の主な注意事項

◎ご使用前に、必ず取扱説明書を熟読し、正しくお使い下さい。

◎クレーン等安全規則に従った有資格者以外の作業禁止。

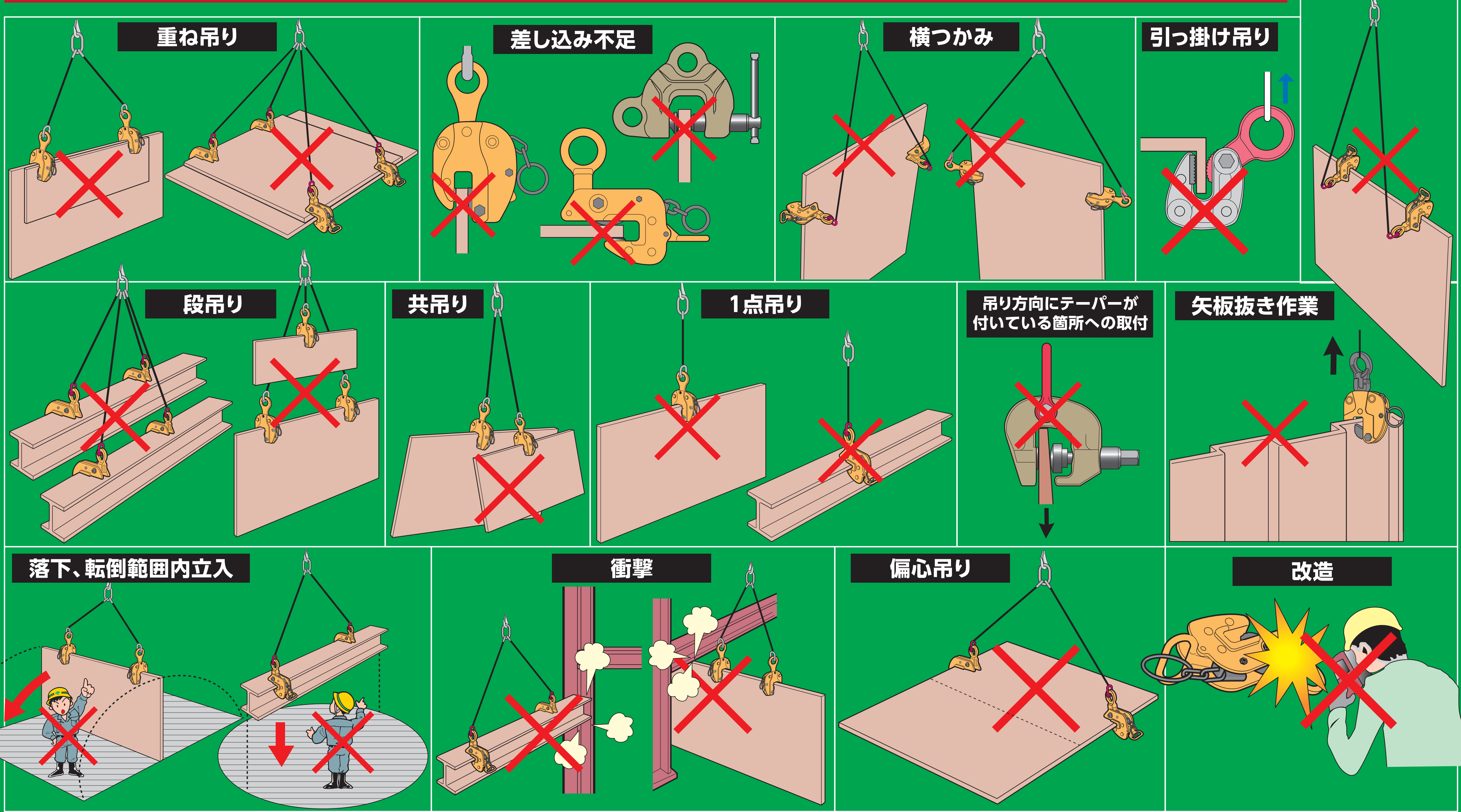
◎鉄鋼材料以外の使用禁止。

◎抜勝手勾配のある吊り荷の立吊り禁止。

◎吊り荷の急激な移動や急停止の禁止。

◎2点吊り以上の場合は必ず同一機種の使用厳守。

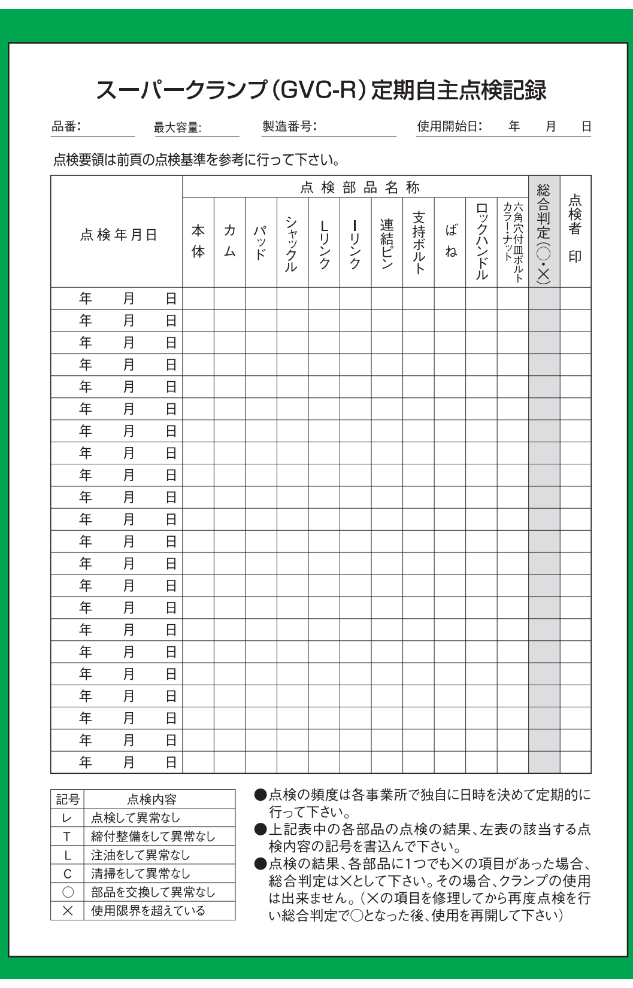
⚠ 危険な使用法


重ね吊り
差し込み不足
横つかみ
引っ掛け吊り
不適合機種使用
段吊り
共吊り
1点吊り
吊り方向にテーパーが付いている箇所への取付
矢板抜き作業
落下、転倒範囲内立入
衝撃
偏心吊り
改造

自主点検チェック表

お客様による定期自主点検ではチェック事項を設けており、自主点検も可能にしております。

取扱説明書をご参照ください。



スーパークランプ（GVC-R）定期自主点検記録

品番:　最大容量:　製造番号:　使用開始日:　年　月　日

点検要領は前頁の点検基準を参考に行って下さい。

点検年月日	本体	カム	パッド	シャックル	Lリンク	Iリンク	連結ピン	支持ボルト	ばね	ロックハンドル	六角穴付皿ボルト カラーナット	総合判定（○・×）	点検者印
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													
年　月　日													

記号	点検内容
レ	点検して異常なし
T	締付整備をして異常なし
L	注油をして異常なし
C	清掃をして異常なし
○	部品を交換して異常なし
×	使用限界を超えている

- ●点検の頻度は各事業所で独自に日時を決めて定期的に行って下さい。
- ●上記表中の各部品の点検の結果、左表の該当する点検内容の記号を書込んで下さい。
- ●点検の結果、各部品に1つでも×の項目があった場合、総合判定は×として下さい。その場合、クランプの使用は出来ません。（×の項目を修理してから再度点検を行い総合判定で○となった後、使用を再開して下さい）

保証書ハガキについて

ご購入頂きました吊クランプを安心・安全にご使用頂くため、保証書についているハガキに必要事項をご記入の上、必ず投函ください。

保証書ハガキを投函頂くことで弊社にて登録を行い、製品の管理が可能となります。

スーパークランプの点検は弊社にお任せください。

確かな歴史と確かな技術でお客様の安心・安全をサポートします。

弊社スタッフによる点検終了時には点検完了証を発行し製品へ貼り付けいたします。

SUPER
吊クランプ点検完了証
2022年 1 月
スーパーツール

点検完了証

株式会社 スーパーツール

https://www.supertool.co.jp/

□本社・工場 〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地 TEL.072-236-5521（代） FAX.072-236-5785
□大阪支店 〒599-8243 大阪府堺市中区見野山158番地 TEL.072-236-5526（代） FAX.072-236-3817
□東京支店 〒142-0041 東京都品川区戸越3丁目4-18 ゴールドステージビル4F TEL.03-5750-2341（代） FAX.03-5750-2347
□名古屋支店 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山1丁目2-4 TEL.052-323-0701（代） FAX.052-323-0720
□札幌 〒003-0029 札幌市白石区平和通3丁目北4-20 TEL.011-864-3581 FAX.011-864-3590
□仙台 〒984-0831 仙台市若林区沖野2丁目8-5 TEL.022-294-1922 FAX.022-285-1513
□新潟 〒950-0855 新潟市東区江南2丁目6-2 TEL.025-287-5353 FAX.025-287-6003
□北関東 〒337-0004 さいたま市見沼区卸町2丁目6-9 TEL.048-682-5000 FAX.048-682-5059
□広島 〒733-0012 広島市西区中広町2丁目14-27 TEL.082-293-5570 FAX.082-293-5531
□福岡 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3丁目10-23 TEL.092-431-1897 FAX.092-431-1909

2022.5㊫